FFC 農業資材　活用効果事例レポート vol.2

黒の土作りの活用で安定した農業を実現！

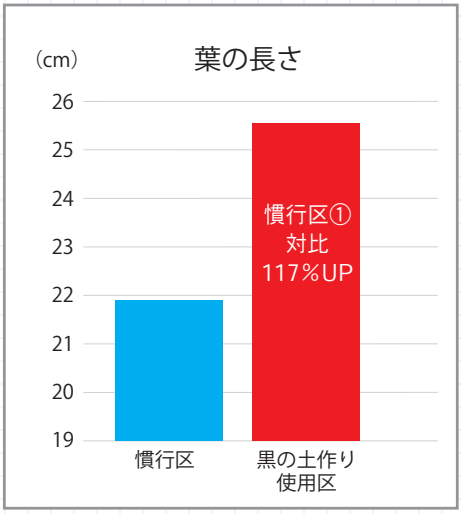


黒の土作り
(1袋40L入)

■ コマツナ（愛知県）

黒の土作り使用区と慣行区を2区ずつ設定し、10a（1反）あたり90袋の黒の土作りを使用。
収穫までの生育の様子を観察した。（慣行区には生産者様が通常使用されている馬ふん堆肥を使用）

生長が早く 葉揃いが良い！



黒の土作り使用区の方が
葉長が長く、生育が早い



生育にムラあり　　全体が揃っている

葉揃いよく 一気に収穫できた！

	10月3日	10月4日	10月5日	10月6日	10月11日	計	収穫完了まで
慣行区			12	9	16	37	39日
黒の土作り使用区		39	生育を待って何回かに分けて収穫			39	32日

黒の土作り使用区の生育が早く、一度にすべて収穫することができた。
また、慣行区は黒の土作り使用区と比べ、収穫完了まで1週間以上の差があった。



生産者様

作業効率が向上した！

一番生育のよい黒の土作り使用区から収穫しましたが、
生育が揃っているので、とても収穫しやすく楽しく仕事ができました。

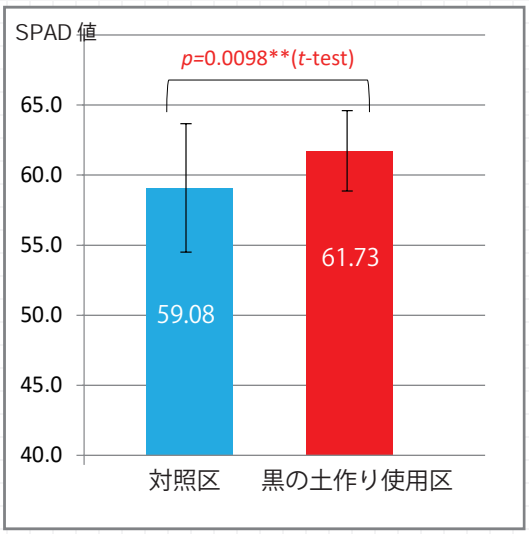
■ トウモロコシ（愛知県）

黒の土作り使用区と対照区を設定し、10a（1反）あたり50袋のFFCバーク堆肥を使用。
収穫までの生育の様子を観察した。





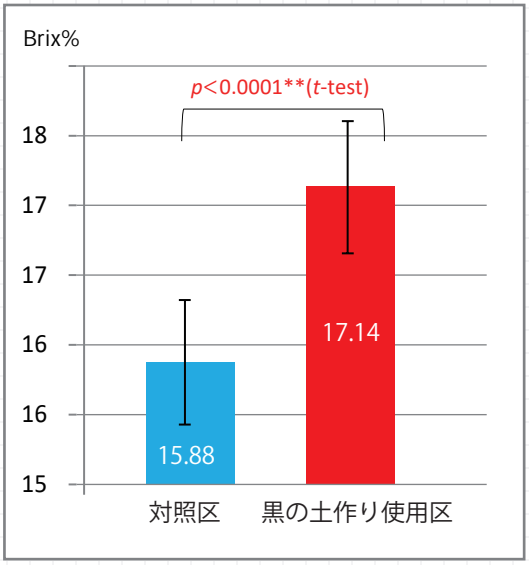
葉の葉緑素量が多くなった！



黒の土作り使用区のトウモロコシは対照区に比べて、
SPAD値（葉緑素含有量）が有意に高く、平均で約4.5%上回った。

葉緑素量が増えると、光合成活性が増え、
CO_2の吸収量や酸素の生成量も増えます。
また、光合成と同時に植物は「デンプン（糖）」も
作り出すため、生産する作物の品質が向上します。

トウモロコシの糖度が高くなった！



黒の土作り使用区のトウモロコシは対照区に比べて、
Brix糖度が有意に高く、平均で約8%上回った。





朝６時に収穫。その場で測定

お問合せ先 株式会社 エフエフシー・ジャパン 〒514-2293 三重県津市高野尾町1868番地の3
TEL:059-230-3595　mail:info@ffc-japan.co.jp